

# ソーシャルメディアガイドライン

## 本校生徒のソーシャルメディアの利用について

ツイッターやLINE、インスタグラムに代表されるソーシャルメディアを利用する生徒が増えています。非常に便利なサービスですが、使い方を注意しないと知らぬ間にトラブルに巻き込まれる可能性があります。

### 1. インターネットは世界中の人が使う公共メディアです

一度インターネット上に発信した情報は完全に削除することはできません。あなたが発信した内容は、この瞬間も誰かにコピーされているかもしれません。公開範囲を限定してもその危険性はありません。発信者としての自覚と責任を持ち、覚悟を持って利用してください。利用は自己責任です。

### 2. 法令・規範を守りましょう

現実世界でやってはいけないことは、インターネット上でもしてはいけません。また、公共の場におけるデジタル機器の利用ルールやマナーを守りましょう。

(マナーモード指示を守る、「歩きスマホ」や「音楽を聴きながらの自転車走行」をしない、など)

### 3. 個人情報の書き込みを行ってはいけません

自分はもちろん、友人・知人の個人情報に関する書き込み(学校名、個人名、住所、年齢、性別など)を行わないように気を付けましょう。制服を着用した写真は学校や個人が特定されます。特に、自分の情報が他人に分かる記述で残っていた場合、将来にわたって参考情報として見られる可能性があることを覚悟しましょう。進路や就職などの不利益になる恐れもあります。

### 4. 自分以外の人を情報発信する場合は、あらかじめ許可を得ましょう

自分以外の人を情報発信する際には、その人をインターネット上の危険にさらしてしまうことを十分理解する必要があります。どんなに些細な情報でも必ずその人の許可を得ましょう。間違った内容を発信してしまった場合はすぐ訂正しましょう。その際は、直接誠実に謝りましょう。

### 5. 次のような情報(文字情報だけでなく写真や動画も含む)を発信してはいけません

- ・他者を中傷する、または侮辱するような情報
- ・人種、思想、信条等を差別、あるいは差別を助長させる情報
- ・違法、もしくは不当な情報、またはそれらの行為をあおる情報  
(未成年者によるネット選挙活動も違法行為にあたるため、注意が必要です)
- ・公共ルールやマナーに反する行為をアピールするような情報

### 6. あったことのない人とのコミュニケーションは気を付けましょう

その人は本当に信用できる人間ですか?知らない人とのコミュニケーションをする際は、現実世界よりも慎重に判断しましょう。会うことは危険なことです。

### 7. 困ったら相談しましょう

トラブルに巻き込まれた、またはその可能性があるときは、友達、先生や保護者に相談しましょう。

このガイドラインは、一人だけが守ってもみんなの安全は保てません。

また、たった一人の「故意」や「うっかり」が、みんなの危険を招くこともあります。

生徒および保護者を含む関係者全員が、この内容に準じた利用を心がけましょう。

※運用する中で、実情にそぐわない点は、随時変更する。